

「ありがとう」の言葉を力に

介護現場で働く魅力

社会の超高齢化が進む中、介護を必要としている方が増えています。体の衰えを感じても、一人ひとりの意思が尊重され望んだ生活が送れるよう支援する介護サービス。実際に区内の介護現場で働いている方に仕事の魅力などについて話を聞きました。

頑張った結果が直接返ってくる、やりがいある仕事 訪問介護事業所管理者 江田さん



▲江田さん(介護ステーションぽけっと)

現場ならではの知恵で最適なケアを

私たち訪問ヘルパーの業務内容は幅広く、おむつ交換や食事介助、掃除などさまざま。現場では、利用者の方がより良く生活できるよう、一人ひとりに合わせて工夫しています。筋力の弱い方は、スプーンが数グラム重くなっただけで、自分で持てなくなる場合も。どのスプーンを用意するかといったことだけでも生活の質は変わるんです。プロとして生活の質を上げるお手伝いをするのが私たちの仕事です。

利用者の方の言葉が励みに

今年4月に緊急事態宣言が出た際、不安を抱えつつも利用者への思いから多くのヘルパーが仕事を続けました。みなさん責任感が強く、中には「担当している方の具合が悪くなったら、休みの日でも行

きます」と言ってくれる方も。この仕事は頑張ったことが直接返ってくるのでとてもやりがいがあります。私にとってやりがいは仕事をする上で一番大事なものです。利用者の方からの「ありがとう」が励みになっています。

若い力が必要です

訪問ヘルパーは健康であれば年齢に関係なく続けられます。当社の登録ヘルパーは、約半数が60～70代。80代の方もいるんですよ。逆に30代以下の方がとても少なく、高齢化が心配です。人生の大先輩である利用者の方から学ぶことが多いので、若い方にもぜひ来ていただきたいです。研修なども充実しているのでキャリアアップも図れます。私自身4人の子どもの育てながら資格を取り、楽しく働いています。



▲自身もヘルパーとして介護業務を行う他、ヘルパーの指導・教育なども担当

現場の声

今年で88歳になります。家の中でも車いすが必要な上、一人暮らしなので、介護サービスに助けられています。ヘルパーの方はみなさん明るくて丁寧。熊澤さんは週に1回掃除をしてくれるのですが、誠実で細かくこちらの要望を確認してくれるのでとてもありがたいです。(利用者Sさん)



ヘルパーの仕事を始めたきっかけは昨年受講した中野区認定ヘルパー養成研修。修了後、本格的にこの仕事をしたいと思い初任者研修を受け資格を取りました。「子どもが学校に行っている時間だけ」など自分の都合に合わせて働けるので、私のような主婦でも働きやすいと思います。利用者の方が喜んでくれる姿や感謝の言葉がやりがいであり生きがい。この仕事を始めてから人に優しくなれました。(訪問ヘルパー熊澤さん)

介護を必要とする方、利用を考えている方へ ケアマネジャー 蒲谷さん

困っていたら相談を

ケアマネジャーの役目は、必要な介護サービスを利用できるよう総合的な支援を行うことです。私は介護を「より良くしたい」「もっとやれることがあるはず」という思いがあり、この業界へ就職しました。突然介護が必要になり、焦ってしまう方も多いと思いますが、ケアマネジャーを始め各専門職が支援する制度があるので、困りの方は、ぜひ相談してください。

ご本人の望む生活を手助け

介護の計画を作る際、まずはじっくりとご本人のお話を聞きます。その上でその方にとっての最善の支援を考える。ただし、最終的に決めるのはご本人です。専門的な知見を生かして、さまざまな情報を提示し、自ら選んで

いただけるように心掛けています。更に介護保険サービス以外の社会資源も紹介。民生委員さんは地域の情報に精通しているので、つながりがあると心強いですよ。いざという時には、地域のコミュニケーションが助けになります。

他の方の人生に関われる仕事

担当していた方が亡くなられた後、ご家族から「あなたと出会えてよかった。つらいことがたくさんあったけど、最後まで妻との生活を存分に楽しめた。きっと妻も楽しめたと思う」と声を掛けていただいたことがあります。夫婦の楽しい生活の一部に自分や関係する各担当支援者が刻まれていた。他の方の人生に少しでも楽しく関われたと感動しました。

介護が必要になったとしても、自分の生活は続きます。自身はどのような生活を送りたいのか、どういった最期を迎えたいのかを考えて一歩を踏み出してみませんか。相談していただければ、さまざまな専門職が知恵を絞ってより良い生活ができるよう支援します。



▲蒲谷さん (日本リック居宅介護支援事業所)

ある日のスケジュール

午前9時 出勤 > 10時 訪問 > 正午 お昼 > 午後1時 会議 > 2時 訪問 > 4時 帰社 > 6時 退勤

本人・家族へ次月の介護サービス内容を説明



▲愛用のロードバイクで出発

ヘルパーや訪問看護師など関係者が集まって課題を確認。家族を含めチーム体制で本人を支援



◀資料作成や給付の管理、保険請求などパソコン作業が欠かせません

介護や健康についてのお悩みはありませんか

地域包括支援センターは、高齢者や家族の方の不安や心配事を受け止め、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう総合的に支援します。気軽に相談してください。

例えばこんな相談

- ・生活上の支援
- ・介護保険サービスの利用
- ・認知症のこと
- ・健康づくり・介護予防 など

地域包括支援センター(8か所)

南中野 ☎(5340)7885 FAX(5340)7886	東中野 ☎(3366)3318 FAX(3366)3398	中野北 ☎(5380)6005 FAX(5380)5762	鷺宮 ☎(3310)2553 FAX(3310)1172
本町 ☎(5385)3733 FAX(5385)3776	中野 ☎(3367)7802 FAX(3367)7800	江古田 ☎(3387)5550 FAX(3387)5955	上鷺宮 ☎(3577)8123 FAX(3577)8124

介護の魅力を発信中

中野区介護サービス事業所連絡会HPでは、介護現場で働いている方の声や区内事業所の一覧などをご覧になれます。

こちらからアクセス▶

